

最初の1章キット

生涯全部ではなく、まず1つの話を1章に。書き込みながら使うシートです。

— 5つのステップ

01

質問を選ぶ

「家族に聞く12の質問」から1～3問。1問だけでも大丈夫です。(2ページ)

02

話を聞く

聞いた言葉は、できるだけそのまま書き留めます。(2ページ)

03

内容を整理する

本人の言葉・確認できたこと・わからないことを分けます。(3ページ)

04

本人に確認する

原稿を読んでもらい、書いてよいか、意味が変わっていないかを確認めます。(4・5ページ)

05

1章にする

見せる相手、保存と削除、印刷の前の確認をして仕上げます。(6ページ)

— 話を聞く前の確認

☐ 何のために聞くのかを伝えた(例:家族のための小さな本にしたい)

☐ 誰に見せる予定かを伝えた

☐ 話したくないことは話さなくてよい、と伝えた

☐ 途中でやめてもよい、あとから「書かないで」と言ってもよい、と伝えた

☐ 録音する場合は、先に許可をもらった(録音しなくても作れます)

☐ 今日聞く質問と、時間の目安(例:20分)を決めた

話さない自由、途中でやめる自由、書かない自由、公開しない自由は、いつでも本人にあります。このキットは、原稿づくりを助けるためのものです。

— 整理する：本人の言葉／確認できたこと／不明点

同じ話を、3つに分けて書き出します。推測で埋めず、わからないことは不明点に入れます。

本人の言葉(そのまま残したい言葉)

一字一句そのまま。「」に入れます。言い直しや方言も、そのまま。

確認できたこと(聞く人のまとめ)

話の中で本人が言ったことを、短い文にまとめます。

不明点・要確認

時期、名前、分量、聞き取れなかった箇所、第三者の情報など。

記入例(架空):本人の言葉「ごま油のにおい。」／確認できたこと:最初に野菜をごま油でいためていた。／要確認:年末のいつか。

— 原稿用紙

「」の中は話した言葉のまま。言い換えた文は「」の外に書きます。話していないことは書き足しません。

見出し(章のタイトル)

いつの話 わからなければ「不明」

どこでの話

本文

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

残したい一言

本人の言葉なら「」に入れて、そのまま。誰の言葉か、いつの言葉かも添えます。

— 本人への原稿確認と修正メモ

原稿を本人に読んでもらうか、読み上げて聞いてもらいます。確認できないときは「下書き」のままにします。

原稿の版 第 版	確認した日
☐ 書いてよい話か(書かないでほしい部分はないか)	
☐ 言葉の意味が変わっていないか(「」の中が話した言葉のままか)	
☐ 名前や年月に誤りがないか	
☐ 第三者(本人以外の人)の情報を含んでいないか。含む場合、どう扱うか	
☐ 誰に見せる予定か(本人が知っているか)	
☐ 修正したい箇所はないか	

— 修正メモ

箇所	本人の希望	直した

原稿を直したら版を1つ進め(第2版など)、直したところをもう一度確認します。

— 見せる相手・保存と削除・印刷の前に

— 誰に見せるか

☐ 本人だけ ☐ 同居の家族 ☐ 親族 ☐ 本人が選んだ友人・知人 ☐ その他()

インターネットに載せたり、SNSで共有したりする場合は、あらためて本人と、話に出てくる人に確認します。この確認は、上の「見せる相手」の確認とは別です。

— 保存と削除

メモや録音の保存場所

不要になったら消す(いつ・誰が)

- ◇ クラウドと同期するフォルダや共有の端末に置くと、ほかの人が見られる場合があります。
- ◇ 印刷した紙や送ったファイルは、あとから回収できないことがあります。

— 印刷の前の確認

- ☐ 本人に確認していない原稿には「本人未確認の下書き」と書いた
- ☐ 名前・年月・第三者の情報を、もう一度確かめた
- ☐ ページの順番と、表紙・制作情報のページを確かめた
- ☐ 印刷の方法を決めた(家庭のプリンター／コンビニのコピー機／印刷会社)

印刷会社に頼むときは、各社の入稿条件(塗り足し・用紙・面付け・ページ数など)を確認してください。このキットのファイルは、家庭で試すためのものです。

このキットの確認欄は、原稿づくりを助けるメモです。記入しても、あらゆる利用について法的な許諾を得たことにはなりません。